

第34回 源氏物語アカデミー プログラム

開催日	時間	内容	会場
10/20 (金)	18:00 18:15	開講式	ホテル クラウンヒルズ 武生
	18:20 19:20	講義「道長の栄華の舞台～土御門殿～」 同志社女子大学名誉教授 藤谷 壽氏	
	19:30 21:00	講義「御簾の下からこぼれ出る女房装束」 大妻女子大学准教授 赤澤 真理氏	
10/21 (土)	9:00 10:30	原文講読「若菜上～六条院の蹴鞠の場面を読む～」 京都先端科学大学教授 山本 淳子氏	ホテル クラウンヒルズ 武生
	10:45 12:15	講義「天皇をめぐる女サバイバル～後宮空間論～」 慶應義塾大学准教授 栗本賀世子氏	
	12:30 13:30	昼食	
	14:00 15:30	特別講演「紫式部と『源氏物語』」 東京大学大学院教授 高木 和子氏	武生公会堂 記念館
	16:30 17:30	観覧 紫式部・源氏物語関連企画展「うたを詠む」	
18:00 19:30	宴席「紫きぶ御膳」	料亭 鎌仁別荘	
10/22 (日)	8:30 9:30	講義「『源氏物語』を愛読した戦国武将」 一乗谷朝倉氏遺跡博物館学芸員 宮永 一美氏	ホテル クラウンヒルズ 武生
	9:30 9:45	閉講式・講評 監修者 藤谷 壽氏	
	10:30 12:00	現地研修「京のみやび、芸道としての蹴鞠実演・体験」 蹴鞠保存会	紫式部公園 雨天の場合は 武生西小体育館

※ プログラムの内容は変わることがあります。

- ◇参加会費 ●受講料 / 4,000円 (各講義/原文講読) ●21日 昼食 / 1,500円
 ●講義テキスト / 2,000円 ●紫きぶ御膳 / 7,500円
 ●21日 特別講演 / 一般公開 ●現地研修 / 1,000円

◇申込期限 9月30日(土) 期限厳守をお願いします。

[お申込み・お問合せ] 源氏物語アカデミー委員会

〒915-0832 福井県越前市高瀬2丁目3-3 越前市文化センター内
 TEL 0778-23-5057 FAX 0778-21-1975
 Email: info@genji-ac.jp



紫式部公園より日野山を望む

第34回 源氏物語アカデミー

監修 同志社女子大学名誉教授 藤谷 壽

テーマ 源氏物語と殿舎



渡辺玉花 源氏物語五十四帖「若菜上」

会期：令和5年10月20日(金)～22日(日)

会場：ホテル クラウンヒルズ武生ほか

主催：源氏物語アカデミー委員会 紫式部顕彰会
 共催：(公財)越前市文化振興・施設管理事業団
 後援：福井県 福井県教育委員会 越前市 越前市教育委員会 武生商工会議所
 (一社)越前市観光協会 福井新聞社 NHK福井放送局 古典の日推進委員会



第34回 源氏物語アカデミー

テーマ 源氏物語と^{でんしゃ}殿舎

源氏物語アカデミーへの誘い

紫式部が生涯にただ一度だけ都を離れて過ごした福井県越前市では、毎年テーマを決めて「源氏物語アカデミー」を開催しています。今年で三十四回目を迎えるこの催しは、『源氏物語』を読み継ぐ皆さんや古典文学・歴史ファンが全国からこの地に集い、ともに学び合う場として定着してまいりました。令和五年のアカデミーのテーマは「源氏物語と殿舎」。大宮人たちが華麗に立ち回る舞台。それも日常、非日常の営みに応じてさまざまな姿をみせる舞台、その多様性について、各講師の先生方あらゆる側面から解き明かしていただきます。また、最終日には「若菜上」にも登場する蹴鞠の実演もご覧いただけます。それでは、「殿舎」をとおして『源氏物語』を追究する濃厚な三日間をどうぞお楽しみください。

講義 「道長の栄華の舞台 ～土御門殿～」 10/20(金) 18:20～19:20



隴谷 壽氏

同志社女子大学名誉教授 日本古代史、平安時代の政治・文化
同志社大学文学部文化史学科卒
主な著書に『源頼光』(吉川弘文館)『清和源氏』(教育社)『王朝と貴族』(集英社)『藤原氏千年』(講談社現代新書)『源氏物語の風景』『平安貴族と邸第』(吉川弘文館)『藤原道長』『藤原彰子』(ミネルヴァ書房)『平安王朝の葬送』(思文閣出版) 紫式部顕彰会理事(京都)。公益財団法人古代学協会理事長。第5回から源氏物語アカデミー監修者に就任。平成16年度京都府文化功労賞受賞。令和3年度京都市芸術振興賞受賞。

講義 「御簾の下からこぼれ出る女房装束」 10/20(金) 19:30～21:00



赤澤 真理氏

大妻女子大学家政学部ライフデザイン学科准教授。日本工業大学大学院工学研究科建築学専攻修了。博士(工学)。日本住宅史・住文化史。源氏物語絵に描かれた建築空間としつらい、寝殿造の考証学について研究。
主な著書に、『源氏物語絵にみる近世上流住宅史論』(中央公論美術出版)、『御簾の下からこぼれ出る装束—王朝物語絵と女性の空間—』(平凡社)、『住吉如慶筆伊勢物語絵巻』(思文閣出版)。
平成24年日本建築学会奨励賞、平成25年文部科学大臣表彰若手科学者賞。

原文講読 「若菜上 ～六条院の蹴鞠の場面を読む～」 10/21(土) 9:00～10:30



山本 淳子氏

京都先端科学大学人文学部教授 京都大学文学部卒業後、京都大学大学院人間・環境学研究科修了。博士(人間・環境学)。
主な著書に『源氏物語の時代—一条天皇と后たちのものがたり』(朝日新聞出版、サントリー学芸賞受賞)、『平安人の心で「源氏物語」を読む』(朝日新聞出版、古代歴史文化賞受賞)、『誰も教えてくれなかった「源氏物語」本当の面白さ』(林真理子氏と共著、小学館新書)、『紫式部集論』(和泉書院)『紫式部日記と王朝貴族社会』(和泉書院)、『枕草子のたくらみ—「春はあけぼの」に秘められた思い』(朝日新聞出版)など。

講義 「天皇をめぐる女サバイバル ～後宮空間論～」 10/21(土) 10:45～12:15



栗本 賀世子氏

慶應義塾大学文学部准教授 東京大学文学部卒、同大学院人文社会系研究科修了、博士(文学)。「源氏物語」・「うつほ物語」を中心とした平安朝物語文学を研究。
単著に『平安朝物語の後宮空間』(武蔵野書院、第十六回紫式部学術賞受賞)、共著に『天空の文学史 雲・雪・風・雨』(三弥井書店)、『新時代への源氏学4 制作空間の〈紫式部〉』(竹林舎)、『源氏物語 煌めくことばの世界II』(翰林書房)、『はじめて読む源氏物語』(花鳥社)がある。

特別講演 「紫式部と『源氏物語』」 10/21(土) 14:00～15:30



高木 和子氏

東京大学大学院人文社会系研究科教授 国文学、平安朝文学
東京大学文学部卒、同大学院人文社会系研究科修了、博士(文学)。
『源氏物語』を中心に、平安時代の物語や和歌を研究。
主な著書に、『源氏物語の思考』(風間書房、第五回紫式部学術賞)、『男読み 源氏物語』(朝日新書)、『女から読む歌 源氏物語の贈答歌』(青簡舎)、『コレクション日本歌人選 和泉式部』(笠間書院)、『平安文学でわかる恋の法則』(ちくまプリマー新書)、『源氏物語再考 長編化の方法と物語の深化』(岩波書店)、『源氏物語を読む』(岩波新書)。

講義 「『源氏物語』を愛読した戦国武将」 10/22(日) 8:30～9:30



宮永 一美氏

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館主任(芸芸員)。國學院大學大学院博士過程前期日本史専攻修了、博士(文学・総合研究大学院大学)。日本中世史。展示、歴史文化担当。展覧会「戦国のまなびや—朝倉文化、文武を極める—」平成25年、「一乗谷—戦国城下町の栄華—」平成27年。主な論文「越前における文芸興隆と月舟寿桂」『一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要2011』、「戦国武将の歴史顕彰と龍女奇譚—朝倉氏家臣堀江氏の場合—」『国文学研究資料館共同研究(課題)報告書 怪力乱神の文学』など。福井県生まれ。

現地研修 10/22(日) 10:30～12:00



蹴鞠保存会 沿革

蹴鞠は仏教などと共に1400年以上も前に大陸から伝わったといわれています。その後、日本独自の発展を遂げ、貴族だけではなく武家や町人も蹴鞠を楽しみました。しかし、明治維新後の西洋化に伴って蹴鞠は衰退しましたが、その存続を願われた明治天皇の勅命と御貸金をもって明治40年(1907)に蹴鞠保存会が創建され、現在に至っています。

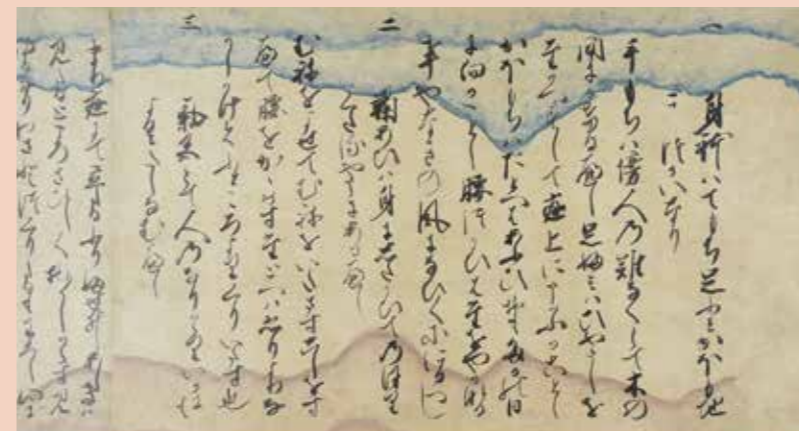
「京のみやび、芸道としての蹴鞠実演・体験」

令和4年9月8日の福井新聞に、「一乗谷朝倉氏遺跡資料館は、当主朝倉孝景に公家が授けた蹴鞠の免許状(伝書)を入手した」と、打雲紙に蹴鞠の技や作法が書かれている蹴鞠伝書が掲載されました。永正5年(1508)に公家の飛鳥井雅康から当時16歳の孝景に授けたものです。「七夕七遊」といいますように、「歌、鞠、碁、花札、貝合、揚弓、香」は、当時教養として身に付けるべき芸能だったようで、蹴鞠や和歌の名手として名高かった飛鳥井雅康は度々朝倉氏に招かれて下向し、朝倉一族の指導に当たっていたのでしょう。

日本の固有の文化として連続と受け継がれている蹴鞠ですが、蹴鞠装束をまどって、独特の声をかけながら鞠を蹴りあう様子は、なかなか観る機会に恵まれません。幸いこの越前市には、『日本の蹴鞠』(光村推古書院)を著し、蹴鞠(しゅうきく)保存会理事、しかも自らも鞠足(まりあし)の池 修氏がおられます。この度、朝倉での文化繁栄の貴重な資料発見を記念して、蹴鞠保存会の鞠足の方々に実演していただくことになりました。体験コーナーもあります。

『源氏物語』若菜上には、三月のうらかな日、六条院で蹴鞠が行われます。一汗かいた柏木が階段に腰を下ろし、女三の宮の部屋を横目で見ている時、猫のせいで御簾が引き上げられ図らずも女三の宮を垣間見てしまい、激しい恋に陥る場面が描かれています。 ※蹴鞠体験に参加するには事前申込が必要です。(先着24名)

紫式部公園 (雨天の場合は武生西小体育館)



蹴鞠伝書巻頭(縦32cm 横268cmの巻物)
写真提供/一乗谷朝倉氏遺跡博物館

観覧 10/21(土) 16:30～17:30 武生公会堂記念館

紫式部・源氏物語関連企画展

「うたを詠む」

平安時代の貴族たちにとって、日常生活の一部であった「うた」の持つ様々な力に注目し、政治とうたの関わりや物語と和歌、恋とうた、遊びとして浸透していった和歌など、各時代によって求められてきたうたの形を、関連する資料を通して紹介していきます。



源氏香歌留多/越前市武生公会堂記念館蔵